

## 平成28年度 第4回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成29年2月15日（水）午後2時00分～3時50分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 坂本、古賀（靖）、村田、堺(婦)、笹井、松尾、浦、江崎(君)、上妻、高安、堺(裕)  
(敬称略)
- 【欠席委員】 豊満、柿川、江崎(美) (敬称略)
- 【行政関係者】 村上市民協働部長、岡田市民協働部調整監、中村地域コミュニティ推進課長、高口生涯学習課長、新村生涯学習課青少年担当課長、徳永スポーツ推進室長、川崎人権・同和教育課主査、吉富生涯学習課青少年教育担当主査、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

### ◆あいさつ

村上市民協働部長

### ◆報 告

#### 1 平成28年度南筑後地区社会教育委員交流会について

高安委員、上妻委員より報告。研修内容（子どものスマートフォン等メディアとの付き合い方）に関して以下の意見が出た。

議長	以前は、スマートフォン（以下、スマホ）やインターネットに関して、有害サイトに行ってしまう問題があったが、現在はLINEやtwitterでの誹謗中傷が問題になっている。何か意見等あるか。
委員	子育て情報誌「おおむたっ子」の会議の中には若いお母さんがいるが、昼間忙しいため夜買い物に行く。子ども達（小中学生含めて）も学校が終わると塾に行き、その後家に帰ってご飯を食べるような『夜型の生活』になってきている。親が寝静まってからスマホや携帯をする子もいる。子ども達が、SNS（LINEやtwitter）に簡単に入れてしまい、親もSNSを使っているため、子どもに禁止させるのは難しい。親が夜型生活になると、当然、子ども達も夜型生活になってしまう。 また、子育てふれあい広場に関わっているが、スマホ関係の悩みを相談されるお母さんが最近増えている。以前までやっていたFacebookを辞めた、LINEを抜けた等の話をよく聞く。子育てふれあい広場に来なくなったお母さんに話を聞くと、お母さん同士のスマホに関するトラブルがあり、来られなくなったとの話であった。SNS等を使ったトラブルが、社会的な問題になってきており、大人の社会で起こっているということは、子ども達の社会でも当然起こっていると考えられる。小学生でも使いこなす。周りの大人が気をつけてあげるべきなのかなと思う。

議長	<p>SNS では主語と述語が分からず、誰の悪口を言っているのか分からないが、当事者は分かるので傷ついてしまう。ツールが普及している中、一人ひとり思いやりをもって行動していくべき。学校現場では何か取り組みはされているのか。</p>
委員	<p>学校現場も、スマホに振り回されている。様々な事象があるが、たとえば記号化した言葉。大人が見ても分からないが、実は意味があり、子どもはその言葉を見ると傷つくが、大人が見ても分からない。子ども達はコミュニケーションに対して恐怖を抱いてしまう。顔と顔を付き合わせる、目を見て、声を耳で捉えて、表情を見てというコミュニケーションの原点に戻っていかなければならないと思う。言葉遊びが非常に人を傷つけ、人権問題につながっていく。</p> <p>犯罪面では、大牟田警察署の便りで、この時期は初めて携帯を持つ子が増えるため、自分の顔等の写真を見知らぬ人に送ってしまう子も出てくる。写真を送信した相手や先輩・同級生が脅しに使い、金銭を要求されるという事件へと発展してしまうこともある。</p> <p>言葉に気をつけ、相手を思いやりながら、もしやり取りの中で分からないことがあれば、もう一度顔を見て話し直すなど、教えていかなければならない。</p>
委員	<p>学校現場として、学校教育だけでは限界があるため、保護者への啓発活動を行っている。大牟田地域教育力向上推進協議会で、情報モラル・ルールや、家庭できちんと使用上のルールを決めるという啓発チラシを配ったり、PTA 総会や懇談会等で保護者をお願いしている。また、福岡県教育委員会の事業として保護者と児童生徒が学ぶ規範意識育成事業もある。NPO 法人「子どもとメディア」より講師を依頼し、保護者と児童生徒が学ぶ場を学校では設定したい。</p>
議長	<p>家庭・学校・地域が連携していかないと、問題は収束しないのではないかと。今回、研修に行っただいて皆さんで現状について協議できてよかった。</p>
委員	<p>子どもが高校受験をした際、校門の前で携帯電話会社がパンフレットを配布していた。学校が配るのを許可しているわけではないと思うが、子どもは携帯電話が欲しくてたまらない。家庭内で高校入学までは買わないという指導をしているので、可能であれば配ってほしくないがどこに言ったらいいか分からない。</p> <p>子どもは私の携帯を借りて、ゲームや LINE をしているが、一度電話番号を載せるなどのトラブルがあるので、できるだけ持たせない。</p>

## 2 第69回成人式の実施状況について

配布資料『第69回成人式の実施状況について（報告）』に基づき、新村生涯学習課青少年担当課長より報告。以下の意見が出た。

委員	高校生ボランティアについて、高校生は年度末にボランティア活動の実績を報告しないといけない。証明書様式を学校が出している場合もあるが、他の市町村では、管轄の部署が証明書を発行している場合もある。大牟田市でも市が高校生たちにボランティアの証明書を発行したらどうか。
行政関係者	今年度は、式典終了後に数名の高校生からは学校からの証明書を持ってきていたので署名をした。今のご意見を踏まえて、学校との事前のやり取りを行い、あらかじめ市が証明書を用意しておく等、検討していきたい。
委員	職員が忙しいときに、「発行してください」と言ったら、嫌な顔されたと言う高校生もいた。できれば後日、一括で学校に送る等してもらえるとありがたい。青少年担当は他事業でもボランティアが多いので、(居場所等)ボランティアの証明書の出し方等を検討していただけたらと思う。
委員	報告の文書の中の言葉で気になった部分がある。「5. 会場整理・誘導等(2) 圏民ロビー等での『たむろ』」とあるが、『たむろ』という言葉がなじまない・強すぎると思う。「圏民ロビー等での様子」という言葉にするのはどうだろうか。このタイトルだと、たむろするのが圏民ロビーという風にも受け取れる。(3)のように、「式典終了後に会場の外で多くの新成人が『たむろ』し、」と文章中に記載されているのは問題ないと思うが、タイトルに「たむろ」と言葉を使用しているのが気になる。
行政関係者	そのようなニュアンスで捉えられるということであれば、好ましくないと思うので、次回以降気をつけたい。
議長	せっかく会場に来ているのに、入場しない新成人がいるのは残念なことだと感じるが、何か手立てはあるか。
行政関係者	会場内でのイベントや呼びかけ等をしてきたが、一定数は必ず入場しない新成人がおり、(入場を)我々も強制はできない。工夫として、口頭で呼びかけるだけでなく、【お入りください】と書いたプラカードを立てている。
委員	会場外で雑誌の取材が行われていることが、入らない理由のひとつかもしれない。雑誌の記者や着物屋さんなどがずっと写真を撮っている。一度、「式典が終わってからされたらどうですか」とお伝えしたこともあるが改善はされなかった。
議長	そういった規制もできないですよ。次回以降、今のような点も含めて成人式をご覧になって、意見等述べていただければと思う。記念品の入った袋の放置が減った理由はなにか。
行政関係者	昨年度と大きく違う点として、配布している啓発資料の中には、新成人に関係ない資料も多かったため、今年度は資料の数を減らしたことが理由の一つと考えられる。

### 3 平成28年度「通学合宿支援事業」の実施について

配布資料『平成28年度「通学合宿支援事業」の実施について（報告）』に基づき、新村生涯学習課青少年担当課長より報告。以下のような意見が出た。

委員	先ほど話題にもなった「スマホ等」について、通学合宿でのスマホ等の取り扱いはどうだったのか。
行政関係者	通学合宿ではスマホやゲーム等は持ってこないことが決まり。子どもたち同士やボランティアさんとの交流を大切にしているので、持ち込ませていない。
委員	資料の4行目に特定の校区名が記載されているが、記載する必要はないのではないか。校区ごとに事情があるので、「実施を見合わせられた」ということは書かない方がよいのではないかと思います。
行政関係者	社会教育委員の会議用の資料としてあえて書かせていただいた。次回以降気をつけたいと思う。
議長	スマホの件で何か感想がありましたか？
行政関係者	男の子が「ゲームは持ってこれないの？」としきりに言っていた。通学合宿が始まると、いつもは行わないご飯作りやもらい湯に行く等忙しかったのか通学合宿の中で、感想は出ていない。
議長	スマホのない生活を体験するというのも必要なのではないかと。今後はそういう視点も持って感想に目を向けていただきたい。 学校も協力しているということはあるのか。
委員	少子化の中で、上下関係にもまれている子どもとそうじゃない子どもでは、中学生になって精神的な面で差が生じる。通学合宿の意義は、多くの子どもたちと切磋琢磨するところ。私は、通学合宿で失敗を経験してほしい、ボランティアの方には失敗体験を見守っていただきたい。失敗を乗り越えた子どもは思春期になっても強いが、失敗していない子どもはどうしても弱い。家庭・学校だけではできないような体験を通して、地域の力を借りて成長してほしい。
議長	体験自体は日常と変わらない体験だが、失敗体験をすることが大事。このような視点も持って感想を見てほしい。 校区の事情があるかと思うが、ボランティアの確保は難しいのか。
委員	東久福木の通学合宿に以前ボランティアとして参加したが、トラブルは特になかった。通学合宿での決まりを上級生が教える等、きちんとできていたので、困ったことはなかった。嬉しかったこととして、3、4年生から参加していた子が、高校生になって、声をかけてくれたこと。親と違った大人と関わることは社会教育だからこそできるのではないかと。トラブルというトラブルはなかったのは、指導の要の人がよかったのではないかと。
議長	通学合宿のルールや決まりを事前の学習会で学習するからだろうか。段取り等がきちんとされている成果かなと思う。子どもが挨拶をしてくれるのは、通学合宿を通して子どもが地域の一員として自覚、所属意識を持った

	めではないか。ボランティアの確保や地域の事情等あると思うが、今後もぜひ問題解決しながら続けていただきたい。
委員	通学合宿は全ての校区でやってほしいが、自分の校区の近くに公民館等がないところはどうかされているのか、あるいは最初からあきらめているのか。
委員	東久福木は公民館等がないので、集会場を開放して実施した。
委員	施設を持っているところはいいと思うが、地元が手を上げないとだめですよね。
委員	空き家等手広くやれるところを、社会資源として活用されたらどうでしょうかね。
委員	狭いところは、参加人数を少なくしたら良いのではないかな。
委員	校区コミュニティセンターは使えないのか？
行政関係者	<p>校区コミュニティセンターは、校区の取り組み、あるいは校区の構成団体が使われる場合は使っていただくことが可能であるし、市と校区とが事前に相談していただければ宿泊も可能である。</p> <p>以前、公共施設がない地域で実施された際には、介護施設の地域交流施設を活用された事例もある。お風呂の問題が一番頭を悩ます問題ではあるが、施設のものを使うことが可能であれば交流施設を使うことが可能である。それから上官と大牟田が再編をする前の年には、上官校区では最後の思い出として延命庁舎を活用した。公共施設もあまりなじみがないところでも、工夫されて使うことができたので、地域資源がどれだけあるかというところは地域の方が一番ご存知と思うので、工夫できると思う。</p>
委員	公民館等、いわゆる公共施設がなくても工夫すれば応募できることを周知してほしい。
議長	通学合宿を行うために最低限必要な条件等があると思うので、各校区での工夫等の情報があれば、周知啓発をしていただければと思う。私の校区で行ったときは、趣旨から反するのかもしれないが、ボランティアも多忙でできないときはコインランドリーで洗濯をした。よくない例かもしれないが、地域にあるコインランドリーや介護施設の風呂を使わせてもらうこと等、様々な地域資源を活用して通学合宿が実施できるのではないかな。

## ◆議題

### 1 社会教育委員の会議をふりかえって

以下の意見が出された。

委員	<p>子育て情報誌「おおむたっ子」の編集委員をしている。前回の会議で、委員の皆さんに協議いただいた内容から、「社会教育委員のメッセージ」の原稿（配布資料：社会教育委員から子育て応援メッセージ）を作成した。3月1日に発行予定で、特集ページは大牟田市制100周年記念号として、大牟田市の今と昔の懐かしい写真等を掲載している。社会教育委員のメッセージでは「子育て仲間を見つけよう」というタイトルで、子育ての相談ができる場所の掲載との意見を踏まえ、子どもと一緒に参加できる教室や広場の紹介</p>
----	--

	<p>をしている。本来ならば、皆さんに内容を確認していただき、その後入稿となるが、スケジュールの都合上、事後報告となり申しわけないが、この状態での発行となる。</p>
議長	<p>第3回の社会教育委員の会議で、社会教育委員からのメッセージについて協議し、作成された原稿を議長・副議長で確認をした。議事録と原稿内容を比較しながら、皆さんのご意見が反映されているかを確認し、今回はこのような内容となった。</p>
委員	<p>手元に届くのが楽しみです。</p>
委員	<p>掲載している相談施設の他にも、幼稚園や保育所の相談施設もあるが、紙面の関係上、すべて掲載することは難しいため、今回は市が管轄している施設のみ掲載した。また地域の窓口として、民生委員・児童委員を掲載した。</p>
議長	<p>子どもも一緒に参加できるような場合は、親御さんも参加しやすいのではないかとのご意見もありましたので、原稿の真ん中に反映している。このような場の存在を親御さんに知っていただければと思う。</p>
委員	<p>写真の「なんでも相談してね」と吹き出しがついている人は、市の職員で「えるる」のつどいの広場に常駐しているため、相談しやすい。</p>
議長	<p>相談の件数等は分かるか。</p>
委員	<p>おそらく児童家庭課でまとめられている。</p>
委員	<p>「なんでも相談してね」と書いてあるが、自分の子どもが小さいときにはどこにも相談に行かなかった。行くことのハードルが高かったので、公的機関だと行かないんじゃないかと思ってしまう。このような相談する場が民間でできることが理想的だと思う。相談室は、箱物で開放感もなく、相談する方は心を開いてゆっくりできているのかと思ってしまう。雰囲気作りも大切なので、気軽に相談できるような環境を作っていただきたい。</p>
議長	<p>公民館や地域のサークル等の紹介も考えていけたら良いのかなと思う。今回は市の窓口等を書いたが、他にも相談窓口等を考えていければと思う。</p> <p>一年を振り返って感想等あるか。第1回の会議では事業計画について話したが、何か質問はあるか。</p>
委員	<p>公民館で様々な事業を組まれて、実際に実施できなかった事業はあるのか。当初予定されていた事業が、人が集まらなかったため、実施できなかった事業があり、急遽自分に講師依頼の話が来た事業があった。できなかった事業等があれば教えていただきたい。</p>
行政関係者	<p>参加者が想定よりも少なく、実施できないことはある。ただ子どもたちが参加する事業の場合は、安全管理等の問題もあるので多過ぎると実施しにくいことがある。一方、大人を対象にした講座は、公民館で活動されているサークルを活性化するため、サークル活動を体験してみませんかという呼びかけで講座を計画することがあるが、参加者が少ない等の理由で、今年度は内容を変更したものもある。もう一点として、公民館と地域で活動される団体と一緒に色々な事業を組み立てる地域活動支援の状況だが、地域活動の中で</p>

	<p>課題やテーマを地域組織の中で諮って進めていく中、どれをやるか絞込みができずに結果的に、年度末などの時期にずれてくるケースがある。やはりどうしてもやる側の公民館だけでなく、地域との共催で行う場合、趣旨に最後までできるだけ沿う形でといくと時期がずれることもあるが…実施できないのは、やはり参加者が少ない場合が多い。</p>
委員	<p>来年度、実施できなかった講座数等の数字も出してほしい。</p>
行政関係者	<p>計画で今回見送った、あるいは内容が変わったというような実績。検討します。</p>
議長	<p>せっかく1回目の会議で事業計画について考えるので、事業内容について解説等があってもよいと思う。検討していただきたい。</p> <p>1年間の感想等でもかまいませんので、お一人ずつお願いします。</p>
委員	<p>子どもの居場所で3月5日に「わくわく！子どもまつり」が、手鎌地区公民館、サン・アビリティーズおおむたで開催される。市内の子どもたちが多く集まるが、私たちは社会教育委員として現場の見学や体験をした方が良いのではないかと。時々参加しているが、子どもたちがいっぱい集まっており、見るだけでもエネルギーをもらえる。実践を見ることで社会教育委員として新たな発想ができるのではないかと。社会教育委員として会議以外にも実践等を体験することも必要かと思う。</p>
委員	<p>私はたくさんのボランティア活動を通して、社会勉強させてもらった。社会教育委員に参加し、新たな視界が広がって大変勉強になっている。どうすれば地域に活かすことができるのか、たくさんの気づきが得られた。</p>
委員	<p>今年度初めて、会議に参加させていただけてよかったと思っている。私もPTA 会長や民生委員・主任児童委員を経験した。学校のことも地域のことも保護者のこともよく知っている。現在、学校が頑張り過ぎているように感じる。しつけや性教育等、家庭・保護者が教えないといけないと思う。すべてを学校に任せ過ぎなのかなと感じる。私はPTA のときに学校には言っていた。中学校の先生は部活動もあり、四六時中大変なので、しつけと性教育くらいは家庭でと。言いにくいことははっきり言った。今年度の会議に出席でき、さらに学習できてよかったと思う。</p>
委員	<p>本日の会議でスマホの問題が出てきたように、社会教育に関係する大きな課題、緊急の課題がたくさんあると思う。その中で当然社会教育委員としてやれることもあると思うが、私自身は会議に出て座っているだけで終わってしまった。非常に申し訳ない。</p> <p>自分は教育委員会出身なので、大牟田市あるいは教育委員会が今何を考え、何をしようとしているのか気になる。会議を通して、資料をもらい、説明してもらえることは非常にありがたかった。</p>
委員	<p>初めて社会教育委員をして、すべてが勉強だった。社会教育の分野がとにかく幅広く、大変だなと感じると同時に、今まで関心がなかった分野にも関心が高まっており、何歳になっても成長しなければと思っている。</p>

委員	<p>(子育て情報誌「おおむたっ子」の社会教育委員からのメッセージのように) 前回話し合った内容が掲載されることは本当にいいことだと思う。私も県外で子育てをしていたので、一人で頑張って子育てしてたと思う。下の子が1歳のときに大牟田に来て、三池地区公民館で子育てサークルが立ち上がる際に、自分も入らせてもらった。明るく、気軽に先輩ママや色々な人に相談できる場所。今回掲載しているように、専門的知識をもっている方もいるが、先輩ママもアドバイスできる場所が掲載されていると思ったので、次回の「おおむたっ子」が楽しみ。社会教育委員の会議の場で皆様方のお話や大牟田市のことを聞くことで、いつも学ばせていただいている。</p>
委員	<p>現場の声を行政に伝え、逆に行政のことを現場に伝えるいいパイプ役になれているかなと思う。これからもよろしく願います。</p>
委員	<p>今まで社会教育委員という活動自体知らず、初めて参加させていただいて、とても勉強になった。最初、熊本市内で育児をしていて、知り合いもない心細い中で生活していたが、ベビーカーに乗せて散歩していたときに元保育氏の方に声をかけてもらい、近くのサークルに連れて行ってもらったことを話を聞きながら思い出した。社会教育委員の会議という活動があることを知らない方も多いと思うので、いろんな方に伝えていければと思う。</p>
委員	<p>私も、社会教育委員がどういった活動をしているのかを初めて知った。チラシ(子育て情報誌「おおむたっ子」の社会教育委員から子育て応援メッセージ)の中に、「社会教育委員とは、行政と市民のパイプ役の役割を担う。学校教育関係者やPTA、社会教育関係団体の代表、学識経験者、市民公募委員の14人に委嘱され、社会教育行政の充実、振興へつなげる活動をしている」と記載されているが、私は学校教育関係者として、2回しか参加できなかった。機会があれば学校教育に携わる者として、子どもたちの実態等を伝えられればと思う。</p>
委員	<p>中学校の立場から社会教育を見させてもらった。今の中学生が幼少の時に、お母さんが子育てに関してさまざまな疑問を持ちながら、子育てしていたのだと感じた。お母さんは、グループ・仲間に入る人とグループに入らない保護者の方もいる。グループに入っていなかった方がPTAに入って、保護者同士の関わり方が分からず、担任の先生に厳しい口調になってしまう方もいる。会議を通して、子育ての大変さと一生懸命なお母さん方の姿を学ばせていただいた。また、通学合宿で地域の方がボランティアとして協力され、さまざまな世代の方、とくにおじいちゃんおばあちゃん世代の方はとても親身に子どもたちと関わっている。地域の方は、孫みたいにかわいいから登下校中などに「危ないよ」とつい声をかけてしまう。子どもたちが大人になるまでに、そのような地域の方を見習ってほしいと思う。</p>
議長	<p>深い見識のある委員の皆様と、社会教育に関する問題等について議論できたことは大変有意義と思う。私もたくさん学ばせていただくことができ、大変ありがたい。</p>



## ◆その他

### 1 春待ちコンサートの案内について

委員のみ配布資料『春待ちコンサート』に基づき、高安委員が案内を行った。

### 2 第45回大牟田市校区コミュニティ研究大会の案内について

委員のみ配布資料『第45回大牟田市校区コミュニティ研究大会のご案内』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長が案内を行った。

### 3 冬の人権連続講座について

配布資料『冬の人権連続講座』に基づき、川崎人権・男女・同和教育課主査が説明した。